

## 2022年1月フンガ・ハアパイ火山の大規模噴火に伴う潮位変化による津波避難指示発令時における徳島県沿岸部居住者の津波に対する意識と避難行動

阿南工業高等専門学校 正会員 ○多田豊  
阿南工業高等専門学校 正会員 加藤研二

### 1. はじめに

2022年1月15日13時頃に南太平洋のトンガ諸島で発生した海底火山噴火の影響により、徳島県は1月16日0時頃に津波注意報が発表された。同日1時頃に徳島県内で唯一阿南市のみが、阿南市沿岸部に対し避難指示を発令した。深夜の避難注意報、避難指示に対し、徳島県沿岸部居住者の津波に対する意識と避難行動を明らかにするため次のアンケート調査を行った。

- ・期間：2022年2月7日～14日
- ・対象者：セルフ型ネットリサーチ会社に登録している20歳以上の徳島県在住の住民
- ・配信数：351名
- ・回答数：88名（回答率25.0%）

スクリーニング結果は図-1の通りである。男女比は約7:3、年齢は60歳以上が約半数で29歳以下の回答はなかった。居住地は阿南市内が16%であり、徳島市が約50%、鳴門市12%、小松島市5%、残りは松茂町、北島町、美波町、海陽町であった。

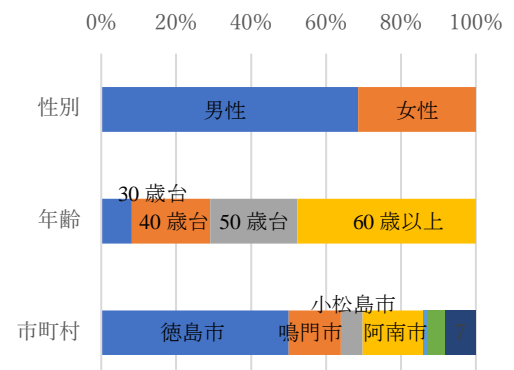


図-1 スクリーニング

### 2. 津波への意識と避難行動の実態

深夜の避難注意報、避難指示を把握した方は68名（81%）であった。阿南市内では100%の方が把握したのに対し、阿南市外では79%であった。把握したきっかけとなった媒体（図-2）は、阿南市内では最も多かったのはスマホなどの通知で50%、自治体の防災無線28%、TV22%であった。阿南市以外ではTV43%、スマホなどの通知20%、メール等14%の順となった。

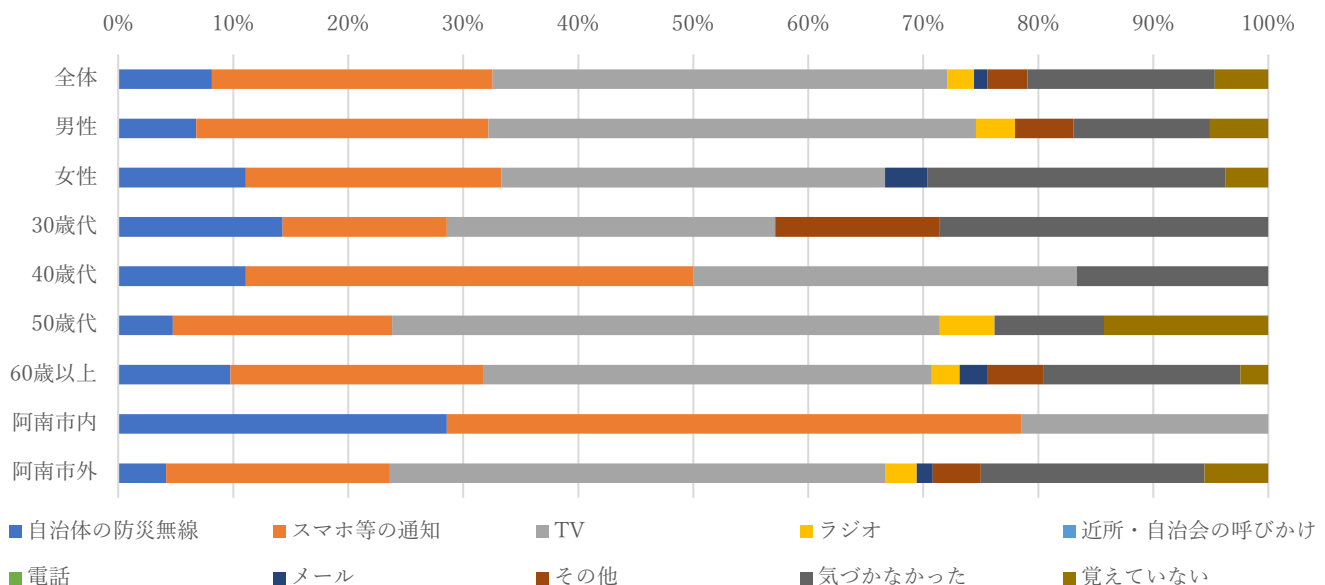


図-2 スクリーニング

深夜の避難注意報，避難指示を把握した方に対し，避難の必要性を感じたかを質問したところ（図-3），避難が必要と感じた方は全体では10%であった。阿南市内では避難が必要と感じたとの回答はなかった。

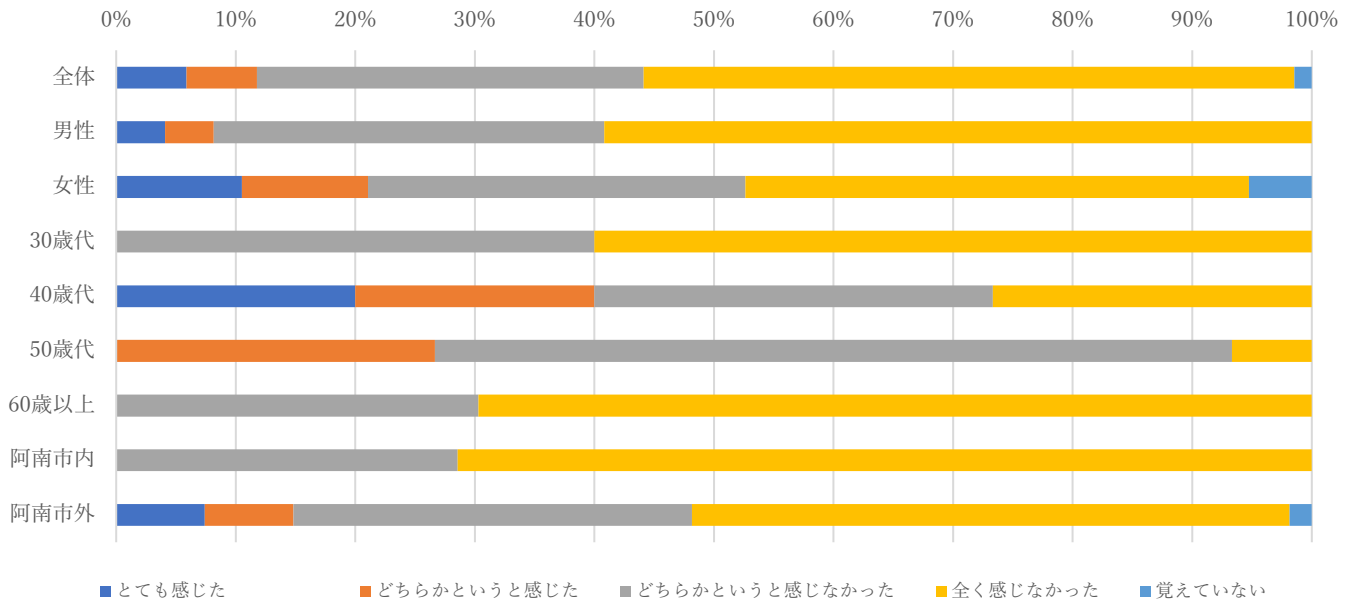


図-3 避難の必要性

実際に避難をした方（図-4）は全体で4%であり，阿南市内では実際に避難をしたとの回答はなかった。85%が避難指示が出ている間に避難をしなかったと回答した。

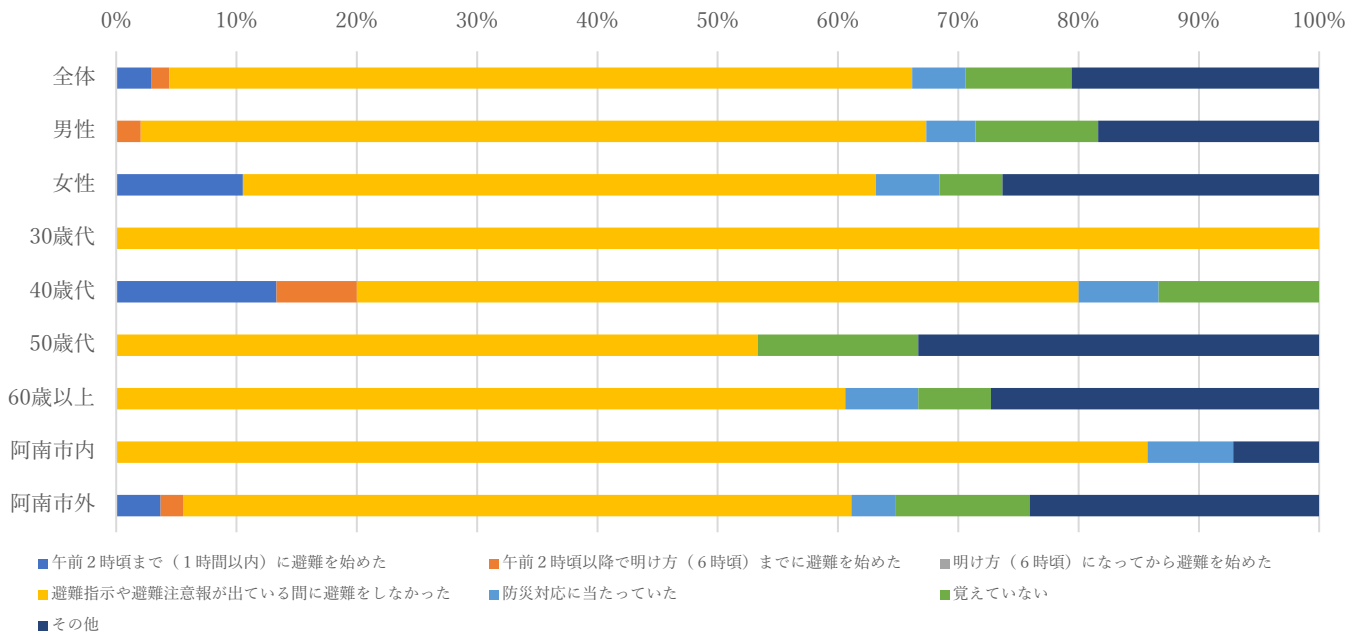


図-4 避難行動の実態

統計上データ数が少ないこともあり，徳島県内で唯一避難指示が出された阿南市内では，避難指示を全ての人が把握したが，避難が必要と感じた人はなく，また実際に避難行動をとった人もいなかった。次報にて阿南市内橘地区を対象にしたアンケート調査の結果を追加し，より正確な分析を行うこととする。